

タイトル… 汐製菓会社の新作 ㊦ ポップ
コーン ㊧

登場人物…

• 汐（30代）… 汐製菓会社社長。大胆で
創造的なアイデアを持ち、常に新しい
挑戦を求める快活な人物。「面白きこ
とも無き世を面白く」をモットーにして
いる。

• 塩田（30代）… 汐の秘書。真面目で心
配性であり、汐の奇想天外なアイデア
に振り回される日々を送る。実は大の
お菓子好きで、そのために製菓会社に
就職した。

第一幕… アイデアの発端

シーン… 汐製菓会社の会議室

会議室の中央には長いテーブルがあり、汐と塩田が座っている。汐はノートパソコンの画面を覗き込みながらニヤニヤしている。塩田は資料を広げて真剣な顔をしている。

汐…塩田さん、ついに新しいポップコーンのアイデアが完成しましたよ！

塩田…またですか、汐さん。先月のカレー味ポップコーンでまだ後始末が終わっていないのに…。

汐…あれは素晴らしい挑戦だったじゃないですか！しかし、今回はもっと革命的なものを考えました！なんと、スパム（肉）味ポップコーンです！

塩田…スパム味？それはちょっと…大胆すぎませんか？

汐：「そうですね！だからこそ、インパクト大なんですよ。みんなが「これぞポップコーンの新時代！」って言うに違いない！」

塩田：「でも、スパムとポップコーン…一緒にしたことなんてありませんよ？どうやってこの組み合わせを実現するつもりですか？」

汐：「それがですね、実は試作品がすでに完成しているんです。ちょっと試してみてください！」

汐はポップコーンの袋を取り出し、中身を塩田の前に置く。塩田は怒る怒るポップコーンを口に運ぶ。

塩田：「うーん…スパムの風味がポップコーンに絡まって…なんだか…新感覚です。」

汐：「でしょ？だからこそ、マーケットに出す価値があるんですよ！」

塩田：「でも、消費者の反応が心配です。どうやってプロモーションを行いますか？」

汐：まずは試食イベントを開催して、みんなにこの味を知ってもらいましょう！あとは、SNSで話題を作ると効果的ですよ！

第2幕：試食イベントの準備

シーン②：汐製菓会社の試食イベント会場

会場には試食用のポップコーンが並び、広告やポスターが飾られている。来場者たちがポップコーンを取り、試食している。音楽が流れ、賑やかな雰囲気漂っている。

汐：スタッフに指示を出しながら（こっちのブースはスパム味ポップコーンを主に！みんなにどんどん勧めてくださいね！

塩田：緊張しながら（はい、わかりました。でも、もし失敗したらどうしよう…

汐…大丈夫です、塩田さん！失敗しても、次に活かせる経験になりますよ！

シーン③：試食イベントの盛り上がり

来場者たちがポップコーンを手にし、試食しながら様々な反応を示している。スタッフが楽しそうに来場者に試食を勧めている。

来場者④：（ポップコーンを口にしながら）うーん、スパムの味がポップコーンに混ざって…意外と美味しい！

来場者⑤：（驚きながら）これは新しい！絶対に試してみる価値がある！

来場者⑥：（鼻をくくん嗅ぎながら）あれ、これスパムの味がするけど、ちゃんとポップコーンのパリパリ感も残ってるね！不思議な感じ！

来場者⑦：（興味津々に）これ、どうやって作ってるの？家で作る方法も教えてほしいな！

スタッフ…（笑顔で）申し訳ありませんが、これは私たちの秘密レシピです！でも、ぜひ商品化をお楽しみに！

塩田…（スタッフと話しながら）意外と好評です。ね…少しほっとしました。

汐…（笑いながら）でしょ？さすが、私のアイデアは間違いない！

シーン… 試食イベントのクライマックス

会場の雰囲気ますます賑やかになり、来場者たちがポップコーンを楽しんでいる。スタッフがポップコーンの袋を補充し、会場が盛り上がりつつある。

来場者…（ポップコーンの袋を手にしながら）（これ、どこで買えるの？家で食べたい！

スタッフ…（笑顔で）こちらで販売予定ですので、ぜひチェックしてください！

汐…（スタッフと塩田を見ながら）素晴らしい反響ですね！これでマーケットに出す準備が整いました！

塩田…（喜びながら）本当に良かったです。次はどんな新しいアイデアが待っているのでしょうか…。

汐…（につこり笑いながら）さあ、次はどんな奇想天外なアイデアを考えようかな…楽しみですね！

シーン5：試食イベントの後日談

会議室で、試食イベントの結果を振り返りながら、汐と塩田がデータを確認している。

塩田…（報告書を見ながら）試食イベントの結果、スパム味ポップコーンは予想以上に受け入れられました。SNSでも話題になっています。

汐…（嬉しそうに）やった！これは私の最高傑作です！これで私たちのブランドも一気に注目されるでしょう！

塩田…（微笑みながら）本当にすごいです。でも、今後の味のアイデアも気になりますね…。

汐は次のアイデアを考え始める。塩田はその様子を見守りながら、次の挑戦に思いを馳せる。

汐…（にっこり笑いながら）次はどんな奇想天外なアイデアが待っているのか…楽しみですね！

塩田…（肩をすくめながら）また新しいチャレンジが待っているのか…それもまた面白いのかもしれないね…。

幕が下りる。

完